



2024年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年11月9日

上場会社名 兼房株式会社 上場取引所 東 名
コード番号 5984 URL <https://www.kanefusa.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 磯谷 岳摩
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 常務執行役員 (氏名) 佐築 賢治 TEL 0587-95-2821
四半期報告書提出予定日 2023年11月10日 配当支払開始予定日 2023年12月5日
四半期決算補足説明資料作成の有無：無
四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第2四半期の連結業績（2023年4月1日～2023年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	10,135	△6.6	661	△33.0	1,027	△24.3	664	△24.2
2023年3月期第2四半期	10,846	14.3	987	37.4	1,356	78.8	876	56.4

(注) 包括利益 2024年3月期第2四半期 1,417百万円 (△29.9%) 2023年3月期第2四半期 2,021百万円 (62.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	47.77	—
2023年3月期第2四半期	63.04	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第2四半期	34,996	28,531	81.5
2023年3月期	33,865	27,399	80.9

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 28,531百万円 2023年3月期 27,399百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	7.50	—	20.50	28.00
2024年3月期	—	7.50	—	—	—
2024年3月期（予想）	—	—	—	7.50	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	20,000	△5.3	900	△37.5	850	△48.9	500	△60.8	35.97

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社 （社名） 、除外 ー社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

（注）詳細は、添付資料P. 9「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 有
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期2Q	14,310,000株	2023年3月期	14,310,000株
② 期末自己株式数	2024年3月期2Q	409,882株	2023年3月期	409,812株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期2Q	13,900,166株	2023年3月期2Q	13,900,268株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(会計方針の変更)	9
(セグメント情報)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、不安定な世界情勢の中でも米国は堅調な景気を維持し、金融の引き締めが長期化している一方で、欧州ではエネルギー供給への懸念や物価高などにより景気は足踏みしております。一方、わが国経済は、行動制約の解消が進み、個人消費は行楽需要が回復へ向かっており、インバウンド需要が増加したことで景況感が改善しております。企業活動においては、半導体の供給不足が解消され製造業を中心に生産が回復軌道にあります。資源高や円安による物価の上昇圧力と人手不足の深刻化への懸念が、経済の先行きを不透明なものにしております。

このような状況の下、当社グループは生産性の維持・向上、顧客への訪問やオンライン会議を活用し、国内住宅関連市場の占有率拡大や非住宅関連市場の開拓などを目指し、戦略的な製品開発、生産、営業活動を展開いたしました。今年に入り各社の在庫調整等により受注が低迷した影響などにより、前年同期を下回る結果となりました。国内における売上は、住宅関連刃物、非住宅関連刃物ともに前年同期から減少しました。また、海外での売上は、米国向けは増加しましたがアジア向けを中心に減少し、当第2四半期連結累計期間の売上高は101億3千5百万円（前年同期比6.6%減）となりました。

利益面につきましては、中国およびベトナムでの売上原価率が上昇したことなどから、営業利益は6億6千1百万円（前年同期比33.0%減）、営業外収益として為替差益3億8千9百万円を計上したことから、経常利益は10億2千7百万円（前年同期比24.3%減）となりました。また、親会社株主に帰属する四半期純利益は6億6千4百万円（前年同期比24.2%減）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

① 日本

国内向けでは、住宅関連刃物、非住宅関連刃物ともに減少し、海外向けでは自動車関連刃物および木工関連刃物が減少したことから、売上高は75億4千万円（前年同期比12.7%減）、営業利益は2億4千1百万円（前年同期比66.5%減）となりました。

② インドネシア

木工関連刃物および製紙関連刃物が減少したことから、売上高は18億5千3百万円（前年同期比15.1%減）、営業利益は7千3百万円（前年同期比67.5%減）となりました。

③ 米国

鋼管関連刃物および自動車関連刃物が増加したことから、売上高は12億2千9百万円（前年同期比32.2%増）、営業利益は1億7百万円（前年同期比52.5%増）となりました。

④ 欧州

鋼管関連刃物が減少したことから、売上高は11億9千9百万円（前年同期比6.5%減）、展示会への出展費用がかさみ営業利益は70万円（前年同期比99.3%減）となりました。

⑤ 中国

中国国内における経営環境の悪化により、売上高は8億4百万円（前年同期比16.2%減）、営業損失は1億3千5百万円（前年同期は4千5百万円の営業損失）となりました。

⑥ ブラジル

鋼管関連刃物が減少したことから外貨建てでは減少しましたが円換算では微増となり、売上高は3億8千4百万円（前年同期比13.2%増）、営業利益は5千1百万円（前年同期比17.7%減）となりました。

⑦ ベトナム

自動車関連刃物および鋼管関連刃物などが減少したことから、売上高は4億2千2百万円（前年同期比18.8%減）、営業損失は1千7百万円（前年同期は8千2百万円の営業利益）となりました。

なお、セグメント別の売上高は、セグメント間の内部売上高を含めて記載しております。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期末における流動資産は191億4千1百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億4千8百万円増加いたしました。これは主に現金及び預金が11億6千万円減少したものの、原材料及び貯蔵品が8億8千2百万円増加し、商品及び製品が4億4千7百万円増加したことなどによるものであります。固定資産は158億5千4百万円となり、前連結会計年度末に比べ7億8千2百万円増加いたしました。これは有形固定資産が前連結会計年度末に比べ6億2千1百万円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は349億9千6百万円となり、前連結会計年度末に比べ11億3千万円増加いたしました。

(負債)

当第2四半期末における流動負債は44億1百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億1千1百万円減少いたしました。これは主に支払手形及び買掛金が1億6千5百万円増加したものの、流動負債その他が4億7千9百万円減少したことなどによるものであります。固定負債は20億6千3百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億9百万円増加いたしました。これは主に固定負債その他が1億3千1百万円増加したことなどによるものであります。

この結果、負債合計は64億6千4百万円となり、前連結会計年度末に比べ1百万円減少いたしました。

(純資産)

当第2四半期末における純資産合計は285億3千1百万円となり、前連結会計年度末に比べ11億3千2百万円増加いたしました。これは主に為替換算調整勘定が7億1千6百万円増加し、利益剰余金が3億7千9百万円増加したことなどによるものであります。

この結果、自己資本比率は81.5%（前連結会計年度末は80.9%）となりました。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における連結ベースの現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ11億6千万円減少し、当第2四半期末には56億7千4百万円となりました。

各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用した資金は1億2千5百万円（前年同期は17億5千1百万円の収入）となりました。収入の主な内訳は、税金等調整前四半期純利益10億2千7百万円、減価償却費8億4千2百万円であります。支出の主な内訳は、棚卸資産の増加11億円、その他5億2百万円、法人税等の支払額3億1千3百万円であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は10億4千万円（前年同期比30.6%増）となりました。これは、主として有形固定資産の取得による支出10億2千7百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は3億2千7百万円（前年同期比15.2%減）となりました。これは、主として配当金の支払額2億8千4百万円であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、2023年8月9日「業績予想及び配当予想に関するお知らせ」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

なお、業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した見通しであり、実際の業績等は様々な要因により予想値と異なる場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,835,700	5,674,997
受取手形及び売掛金	3,736,414	3,723,475
電子記録債権	913,631	914,464
商品及び製品	3,084,119	3,531,338
仕掛品	1,159,194	1,316,388
原材料及び貯蔵品	2,446,221	3,328,260
その他	649,690	680,903
貸倒引当金	△31,731	△28,267
流動資産合計	18,793,241	19,141,561
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,666,482	4,703,263
機械装置及び運搬具(純額)	4,778,910	5,213,723
その他(純額)	3,956,710	4,106,546
有形固定資産合計	13,402,103	14,023,532
無形固定資産	861,124	913,990
投資その他の資産	809,004	916,921
固定資産合計	15,072,232	15,854,444
資産合計	33,865,473	34,996,006

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,552,330	1,717,962
電子記録債務	360,689	363,992
1年内返済予定の長期借入金	89,037	199,479
未払法人税等	244,237	242,382
賞与引当金	405,837	395,906
その他	1,960,880	1,481,711
流動負債合計	4,613,013	4,401,434
固定負債		
長期借入金	1,246,262	1,296,320
退職給付に係る負債	132,061	159,830
その他	475,019	606,985
固定負債合計	1,853,343	2,063,136
負債合計	6,466,356	6,464,571
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,142,500	2,142,500
資本剰余金	2,167,890	2,167,890
利益剰余金	21,534,681	21,913,784
自己株式	△208,831	△208,882
株主資本合計	25,636,239	26,015,291
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	183,413	220,060
為替換算調整勘定	1,590,364	2,307,063
退職給付に係る調整累計額	△10,901	△10,980
その他の包括利益累計額合計	1,762,876	2,516,143
純資産合計	27,399,116	28,531,434
負債純資産合計	33,865,473	34,996,006

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
売上高	10,846,330	10,135,363
売上原価	7,323,024	7,001,406
売上総利益	3,523,305	3,133,956
販売費及び一般管理費	2,536,241	2,472,448
営業利益	987,064	661,507
営業外収益		
受取利息	5,840	9,514
受取配当金	11,456	5,958
為替差益	374,888	389,501
助成金収入	1,352	—
その他	11,405	6,599
営業外収益合計	404,944	411,573
営業外費用		
支払利息	12,699	42,423
デリバティブ評価損	21,730	2,545
その他	1,420	932
営業外費用合計	35,850	45,901
経常利益	1,356,157	1,027,180
特別利益		
固定資産売却益	49,823	855
投資有価証券売却益	1,610	—
特別利益合計	51,433	855
特別損失		
固定資産売却損	20	—
固定資産除却損	988	909
特別損失合計	1,008	909
税金等調整前四半期純利益	1,406,582	1,027,127
法人税等	530,363	363,070
四半期純利益	876,218	664,056
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	876,218	664,056

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益	876,218	664,056
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△94,500	36,646
為替換算調整勘定	1,237,290	716,698
退職給付に係る調整額	2,924	△79
その他の包括利益合計	1,145,713	753,266
四半期包括利益	2,021,932	1,417,322
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,021,932	1,417,322
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,406,582	1,027,127
減価償却費	806,441	842,737
賞与引当金の増減額 (△は減少)	29,960	△13,520
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	6,934	△5,802
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△8,190	17,435
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	△21,559	△24,203
受取利息及び受取配当金	△17,297	△15,473
支払利息	12,699	42,423
為替差損益 (△は益)	△105,439	△204,513
投資有価証券売却損益 (△は益)	△1,610	—
固定資産売却損益 (△は益)	△49,803	△855
売上債権の増減額 (△は増加)	154,128	218,836
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△516,093	△1,100,490
仕入債務の増減額 (△は減少)	△240,118	△93,808
未払又は未収消費税等の増減額	21,995	26,541
その他	856,265	△502,983
小計	2,334,895	213,449
利息及び配当金の受取額	17,297	15,473
利息の支払額	△8,540	△40,440
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△591,981	△313,657
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,751,670	△125,175
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	—	△181
有形固定資産の取得による支出	△910,039	△1,027,103
有形固定資産の売却による収入	125,778	857
有形固定資産の除却による支出	△920	△900
無形固定資産の取得による支出	△3,604	△3,365
投資有価証券の取得による支出	△7,071	△3,173
投資有価証券の売却による収入	2,640	—
貸付けによる支出	△4,479	△6,575
貸付金の回収による収入	1,183	301
投資活動によるキャッシュ・フロー	△796,513	△1,040,140
財務活動によるキャッシュ・フロー		
リース債務の返済による支出	△86,914	△42,156
自己株式の取得による支出	—	△51
配当金の支払額	△298,855	△284,953
財務活動によるキャッシュ・フロー	△385,770	△327,160
現金及び現金同等物に係る換算差額	367,666	331,774
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	937,053	△1,160,702
現金及び現金同等物の期首残高	7,164,309	6,835,700
現金及び現金同等物の四半期末残高	8,101,362	5,674,997

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(会計方針の変更)

(退職給付債務の計算方法の変更)

国際財務報告基準(IFRS)を適用している連結子会社P.T.カネフサインドネシアでは、従来より退職給付の勤務期間への帰属についてIAS第19号を適用し、従業員の勤務期間に応じて退職給付債務を認識する会計処理を行っていましたが、2021年5月のIFRS解釈指針委員会アジェンダ決定「給付の勤務期間への帰属(IAS第19号)」及び2022年4月にインドネシアの会計基準設定主体(DSAK-IAI)が発行した「給付金を勤務期間に帰属させることに関するプレスリリース(PSAK 24プレスリリース)」を踏まえて、前連結会計年度より、退職給付を帰属させる勤務期間を見直し、退職給付を支給する義務が発生する期間に退職給付債務を認識する方法に変更しております。当該会計方針の変更は遡及適用され、前第2四半期連結累計期間及び前連結会計年度については遡及適用後の四半期連結財務諸表及び連結財務諸表となっております。

この結果、遡及適用を行う前と比較して、前第2四半期連結累計期間の四半期連結損益計算書においては、営業利益は5,137千円、経常利益及び税金等調整前四半期純利益は9,303千円、それぞれ増加しております。

また、前連結会計年度の期首の純資産に累積的影響額が反映されたことにより、利益剰余金の前期首残高は64,246千円、為替換算調整勘定は5,116千円、それぞれ増加し、退職給付に係る調整累計額は5,766千円減少しております。

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自2022年4月1日至2022年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント							
	日本	インド ネシア	米国	欧州	中国	ブラジル	ベトナム	計
売上高								
平刃類	2,104,185	1,464,774	180,840	392,542	268,670	92,715	32,344	4,536,073
精密刃具類	1,897,091	101,243	44,334	16,869	24,702	—	9,431	2,093,673
丸鋸類	4,158,054	549,513	687,895	871,682	660,491	240,393	478,574	7,646,606
商品他	476,998	67,177	17,396	2,118	6,469	6,436	429	577,026
顧客との契約 から生じる収益	8,636,330	2,182,708	930,467	1,283,212	960,333	339,545	520,780	14,853,379
外部顧客への 売上高	5,979,243	1,273,285	930,261	1,283,212	472,834	339,545	122,723	10,401,106
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	2,657,086	909,422	206	—	487,499	—	398,057	4,452,273
計	8,636,330	2,182,708	930,467	1,283,212	960,333	339,545	520,780	14,853,379
セグメント利益 又は損失(△)	720,646	226,805	70,635	106,213	△45,140	63,059	82,815	1,225,036

	その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
売上高				
平刃類	13,472	4,549,545	△1,024,854	3,524,691
精密刃具類	19,406	2,113,080	△135,858	1,977,221
丸鋸類	404,349	8,050,955	△2,868,561	5,182,394
商品他	8,085	585,111	△423,088	162,022
顧客との契約 から生じる収益	445,313	15,298,693	△4,452,363	10,846,330
外部顧客への 売上高	445,223	10,846,330	—	10,846,330
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	90	4,452,363	△4,452,363	—
計	445,313	15,298,693	△4,452,363	10,846,330
セグメント利益 又は損失(△)	25,399	1,250,436	△263,372	987,064

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、インド及びメキシコの現地法人の事業活動等を含んでおります。
2. セグメント利益又は損失の調整額△263,372千円には、セグメント間取引消去△25,708千円、棚卸資産の調整額△225,608千円、その他△12,055千円が含まれております。
3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間（自2023年4月1日 至2023年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント							
	日本	インド ネシア	米国	欧州	中国	ブラジル	ベトナム	計
売上高								
平刃類	1,923,162	1,202,989	198,019	381,874	310,635	87,004	6,030	4,109,715
精密刃具類	1,896,531	97,132	117,065	35,088	13,691	207	20,146	2,179,863
丸鋸類	3,393,488	502,922	895,520	779,932	463,773	290,356	396,107	6,722,101
商品他	327,382	50,690	19,185	2,554	16,499	6,883	482	423,679
顧客との契約 から生じる収 益	7,540,564	1,853,734	1,229,790	1,199,451	804,600	384,451	422,767	13,435,360
外部顧客への 売上高	5,159,091	1,103,705	1,229,790	1,198,919	377,718	384,451	85,977	9,539,654
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	2,381,473	750,029	—	531	426,881	—	336,789	3,895,705
計	7,540,564	1,853,734	1,229,790	1,199,451	804,600	384,451	422,767	13,435,360
セグメント利益 又は損失(△)	241,497	73,747	107,700	706	△135,915	51,884	△17,898	321,721

	その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
売上高				
平刃類	36,993	4,146,709	△928,777	3,217,931
精密刃具類	27,971	2,207,834	△203,223	2,004,611
丸鋸類	517,008	7,239,109	△2,471,418	4,767,691
商品他	13,882	437,561	△292,433	145,128
顧客との契約 から生じる収 益	595,854	14,031,215	△3,895,852	10,135,363
外部顧客への 売上高	595,708	10,135,363	—	10,135,363
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	146	3,895,852	△3,895,852	—
計	595,854	14,031,215	△3,895,852	10,135,363
セグメント利益 又は損失(△)	23,853	345,575	315,932	661,507

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、インド及びメキシコの現地法人の事業活動等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額315,932千円には、セグメント間取引消去101,260千円、棚卸資産の調整額216,700千円、その他△2,029千円が含まれております。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

1. 第1四半期連結会計期間より、「その他」に含まれていた「ブラジル」について量的な重要性が増したため報告セグメントとして記載する方法に変更しております。なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の区分により作成したものを記載しております。
2. (会計方針の変更) に記載のとおり、退職給付債務の計算方法を変更しております。これに伴い、前第2四半期連結累計期間については、当該会計方針の変更を遡及適用した後のセグメント情報となっております。当該変更により、従来の方法に比べて、前第2四半期連結累計期間のインドネシアセグメントのセグメント利益は5,166千円増加し、セグメント利益又は損失の調整額は28千円減少しております。